

山形県連協 NEWS

NO.43 2024年12月

山形県学童保育連絡協議会

住所：山形市三日町二丁目1-17

アパートメント Flat-C

TEL:023-674-9782 FAX:023-674-9783

メール：yamagata-kenren@bz04.plala.or.jp



県連協公式 HP

明日の学童保育につなげるために

～全国学童保育研究集会参加報告～

第59回全国学童保育研究集会が岡山県倉敷市で11月16日(土)～17日(日)に開催され、山形県から257名が参加しました。そのうち28名は、開催された現地に赴き参加しました。

今回の研究集会は、ハイブリット方式で行われzoomによるオンラインでの参加の方が多く、2年後に山形で全国研が開催されることを考え、ぜひ現地のエネルギーを感じてもらいたく、各市連協に呼びかけ現地で参加者を募りました。

遠方での開催で費用も時間がかかり大変でしたが、現地に参加した方から「全国の学童保育の方と交流したことで活力と希望が湧いてきた！」と嬉しい感想をいただきました。この研究集会で得られた知識や情報、さらに活力を学童保育の向上につなげられるようにがんばりたいと思います。



【参加者からの感想】

「計り知れない学びと感動、放課後の生活を考えることはこどもの将来を考えることと一緒にある」という大会実行委員長の挨拶で始まった今年の岡山の全国研。現地の歓迎行事に感動し、全国の仲間とともに学び有意義な2日間を過ごすことができました。

「学童保育は実践の熱、1人ではなく、かっか燃える仲間がいることで、相互作用で全体が良くなっていく」と記念講演で仰った川地先生の言葉が印象的でした。

2日目、第27分科会「社会保障・児童福祉、自治体をめぐる政策動向と課題」に参加しました。ここ20年近く、保育・社会福祉・介護の法制化、変わり目があり、あって当たり前の学童保育になった一方、自治体まかせで国の公的責任の言及が弱く、自助・共助から公助へのシフトがうまくいっていない現状、地域格差やトラブルが起きている背景を学びました。

分科会後半は参加者の意見交換、改めて、指導員不足・基準緩和の状況に対し、指導員はこどもの人権と権利(命と成長)、保護者の就労と生活を守り、それを実行・具体化していく専門家である、専門職でないとな務まらない、また子育てはサービスではない、サービスの対価として保育料を受け取っているわけではない、学童は社会保障の一部として先人の方々が作り上げてきたものであり、社会保障の部分を引きとる必要性・重要性を強く感じました。

全国研のうねりは県研修へと続きます、県研修で山形県の皆さんと学び合い・交流を深め、明日の学童保育について語り合いたいと思います。

【天童市 役員/保護者 OB】



2026・GOGO全国研 in 山形

10月14日に行われた全国学童保育連絡協議会総会にて2026年第61回全国学童保育研究集会を山形で開催されることが決定したことについては、前号(第42号)県連ニュースにてお知らせしましたが、この度開催日と開催場所が決定しましたので下記のようにお知らせいたします。開催まであと2年を切りました。

長いようで短い準備期間です。みんなの力を結集して全国研in山形を盛り上げていきましょう!今後、ニュースを通して準備の進捗情報をお知らせしていきます。

会場：山形県民会館・山形テルサ 等

開催日：10月31日(土)～11月1日(日)



『第45回山形県学童保育研究集会』本日開催

ようこそ天童へ

第45回山形県学童保育研究集会が本日12月1日(日)天童市の天童市総合福祉センター天童中部公民館で開催されます。

今回は5年ぶりの完全現地開催、アフターコロナで久しぶりの対面での研究集会です。久しぶりに皆さんとお会いできる日常が戻ったことに感謝し、本日の研究集会が皆さんにとって実りある学びとなりますように願っております。



<参加申し込み状況>

	参加人数	地域	参加数	地域	参加数	立場	参加数
全体会のみ	96	山形市	126	酒田市	2	保護者	166
第1分科会	70	天童市	228	尾花沢市	7	指導員	330
第2分科会	121	寒河江市	20	高畠町	4	運営者	25
第3分科会	45	東根市	59	舟形町	3	行政関係者	13
第4分科会	140	村山市	19	河北町	18	その他	5
第5分科会	38	米沢市	22	山形県外	45		
合計	510	鶴岡市	38				

もっと楽しく子育てができるようになればと、明橋先生のご講演を楽しみにしております。
【天童市 保護者より】

たくさんの地域よりご参加いただきます。



	テーマ・講師等紹介
全体講演	子育てハッピーアドバイス～小学生のこころに寄り添って～ 講師:明橋 大二(真生会富山病院心療内科部長)
第1分科会	指導員の専門性ってなんだろう～保護者とともに考える～ 講師:飛鳥井 祐貴(神奈川県横須賀市指導員)
第2分科会	いまどきのこどもたち～家庭・学校・学童保育・地域で～ 講師:小森谷 一郎(聖和学園短期大学)
第3分科会	こどもの育ちに欠かせない「大人がつながる子育て」 助言&進行:山形県学童保育連絡協議会役員など
第4分科会	すべての人に届けたいアンガーマネジメント ～思いが伝わる叱り方で子育てをもっと楽しく～ 講師:須藤 好子(一般社団法人アンガーマネジメント協会)
第5分科会	学童保育の現状のと課題～よりよい学童保育をめざして～ 講師:千葉 智生(全国学童保育連絡協議会事務局)

令和6年度 県内各連絡協議会の取り組み

山形市学童保育連絡協議会

山形市では、今年度で経過措置期間が終了するため委託の内容や運営の在り方についてなど様々な検討がされています。市連協では、担当課との情報交流を密に行うとともに意見の進言ができる関係性を保ちながら改善が進むよう話し合いをしています。12月には、要望書の提出と市長懇談会を行う予定があり、現在そのための準備を進めているところです。

また、クラブ間の横のつながりをつくりお互いが助け合える関係になれるよう各クラブの保護者会役員が集まり父母会長会を開催しています。

年20回程度の指導員研修を行う中で、保育の内容及び運営内容の向上のため研修を積み重ねています。今年度は、業務継続計画作成が来年度から義務付けられることを受け、全国連協事務局長の高橋誠氏を招き、安全計画及び業務継続計画について研修会を開催し、よりよい計画作成につなげています。

加盟学童保育 26 クラブと少数ですが、情報交流を活発に行い、助け合える関係をつくるとともに保育の向上につながるよう活動をしています。

米沢市学童保育連絡協議会

加盟クラブ数は32単位中11単位と少ないのですが、加盟していないクラブにも働きかけて、一緒に米沢市の施策の充実、保育料の無償化に向けて検討を重ねていきたいと考えています。①【総会】5月18日(土):教育長、子育て支援課課長、県議1名、市議会議員10名と元木県連会長にも参加いただき、開催しました。②【市長・教育長との懇談会】7月4日(木):市長、教育長、子育て支援課課長と元木県連会長、山川県連事務局長にも参加いただきました。③【施策制度学習会】講師:真田さん 9月14日(土):市議会議員7名にも参加していただきました。④【市議会議員との懇談会】10月28日(月) ⑤市長への要望書提出11月14日⑥米沢市子育て支援課との懇談会 12月予定 ⑦【救急救命研修】(消防署にて)10月31日(木) ⑧【感染症対策研修】11月7日(木) ⑨【米沢市指導員会】加盟クラブ以外にも呼び掛けて、4つのテーマ「学童ほいく誌の読み合わせ」「子どもの理解を深める」「保護者への支援を考える」「職場のチームワークを考える」に分かれて、今年は6回行います。⑩米沢市学童まつり(9月29日)を市内のすべての学童保育所に呼びかけて実行委員会を作って行いました。だがしや、体験コーナー、ニュースポーツ、バザーなど行、たくさんの親子の参加がありました。

一般財団法人 天童市放課後児童クラブ連絡協議会

今年度は第45回山形県学童保育研究集会現地実行委員会としての活動に力を入れてきました。本日、県内外から多くの皆さまをお迎えすることができ、心から感謝しています。

市連協ではそれぞれのクラブが向上するよう、行政・議員・学校・地域と協働した取り組みを大切にしています。「教育長を招いての指導員研修」や臨床心理士・作業療法士によるクラブ巡回指導など、専門家の力も借りて保育内容充実をめざしています。(30クラブ:入所児童1,477名)

鶴岡市学童保育連絡協議会

鶴岡市連協では、10月15日に鶴岡市との話し合いを行い、学童保育所の整備計画の推進・障がい児の受け入れに際しての研修や専門家の派遣・指導員不足の対策・学校との連携強化・衛生管理、食物提供の遵守事項の提示等を要望しました。毎月行っている指導員会で「発達障がいの特性と支援のあり方」「児童虐待」についての研修会を行い、拡大指導員会として普段指導員会に参加しない指導員も広く呼びかけて研修の機会を広げています。

村山市学童保育連絡協議会

村山市連協は公設民営の10クラブが加盟しています。(運営主体4つ)長期休み等に高齢者福祉施設を訪問し、歌やダンス、肩もみなどをして世代間の交流をしています。市連協の学習会は、担当者全員で内容を検討し、クラブ毎に担当をしています。11月に全指導員が実践レポートを作成し、1月に小グループ、2月に全体と2回の実践検討会を予定しています。また、手作りおやつに取り組み、No.13のレシピ集を作成しました。(頒価100円)

東根市学童保育連絡協議会

東根市内24支援単位(運営団体9、地域運営8、NPO1)があり、全体入所児童数は1,019名です。

昨年度、市連協全体で市内一律の育成支援を行う取り組みについて話し合い、令和6年度より利用料・負担金・延長料金・開所時間帯の統一を図りました。今年度は、お盆期間・年末年始の休業日の統一に向けての話し合いや、市内支援員の勤務時間・給与・賞与・手当等が各クラブで異なることから、給料体系の洗い出しを行い平準化を目標に活動しております。平準化はハードルの高い内容が多く、課題も山積しておりますが、引き続き取り組んでまいります。





第4回 村山市 NPO 法人ランドセル

楯岡地区のたてやまキッズ4クラブ、戸沢地区の「さんさんキッズクラブ」、冨本地区の「はや丸キッズクラブ」、袖崎地区の「洗心児童クラブ」、NPO 法人ランドセルが運営している合計7クラブが一堂に会し、保護者会主催で10/5(土)に『ランドセルフェスティバル』を開催しました。飴葉プラザをお借りして行う一大イベントです。

フェスティバルの参加を通して、7クラブの子ども同士、保護者同士の交流ができると大好評です。今年は段ボールの巨大迷路・紙飛行機飛ばし・クイズ大会・お菓子釣り・射的・プラ板キーホルダー作成のブースをクラブ毎に担当しました。

今後も子ども達が楽しめる企画を、保護者と話し合いながら行っていききたいと思います。



みんなで広げよう 日本の学童ほいく誌

子どもが学童保育に通っている保護者と、子どもたちと一緒に毎日生活している指導員が書き手となり、学童保育の充実の願いをこめてつくられている学童保育唯一の専門誌です。

今年度も、総会において『日本の学童ほいく』の普及拡大を目標に掲げました。そこで、ほいく誌担当で県内の購読状況の実態調査を行い、調査の結果をもとに、さらに購読者数を増やす取り組みを担当者全員で行っていきます。ご協力いただいた皆様には感謝申し上げます。

毎月行っている「カフェ HOIKUSHI ござーれ」でも、様々なテーマについて意見交流し、よりよい学童保育をめざして活用していきましょう。まだ購読していない方はぜひご購読してください♪

山形県学童保育連絡協議会



バックナンバーの取り寄せ・購読申込
ござーれの問い合わせは、
山形県学童保育連絡協議会へご連絡ください。
TEL : 023-674-9782
mail : yamagata-kenren@bz04.plala.or.jp